

学術講演会のご案内

—小松市・加賀市・能美市医師会—

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、学術講演会を下記の要領で開催させて頂く運びとなりました。

ご多忙の折、大変恐縮ですが、ご参加の程何卒宜しくお願い申し上げます。 謹白

日時：2016年4月21日(木) 19:00~

場所：ルートイングランティア小松エアポート2階 鏡花の間
石川県小松市長崎町4-116-1 (TEL 0761-23-7010)

【情報提供】19:00~19:15

リフレックス錠の最新情報 Meiji Seika ファルマ株式会社

総合司会 医療法人社団東野会東野病院 東野 朗 先生

【特別講演】19:15~

座長 さたけ内科クリニック 佐竹 良三 先生

「脳卒中後うつ」の診断と治療

獨協医科大学 内科学(神経)

主任教授 平田 幸一 先生

*この講演会は、石川県医師会生涯教育講演会(2単位)に該当します。

*この講演会は、石川県薬剤師会認定薬剤師研修制度(1単位)に該当します。

*この講演会は、石川県病院薬剤師会生涯研修認定制度(1単位)に該当します。

*この講演会は、石川県臨床内科医会(5単位)に該当します。

*この講演会は、カリキュラムコード(29, 70, 73)に該当します。

共催：小松市医師会 加賀市医師会 能美市医師会 石川県臨床内科医会

小松能美薬剤師会 石川県病院薬剤師会 Meiji Seika ファルマ株式会社

演者ご紹介



獨協医科大学 内科学(神経)
主任教授 平田 幸一 先生

<講演要旨>

脳卒中罹患後にはうつやアパシーが発症しやすく、患者のADLの回復を妨げる大きな要因になるため、その疑いをもって対応する必要がある。

うつにはSSRI/SNRI/NaSSA等の抗うつ薬が、アパシーには脳循環代謝改善薬やドパミン作動薬が有効であるが、個々の症状に応じた治療法の選択が必要である。

略歴

昭和55年3月 獨協医科大学医学部卒業
昭和61年3月 獨協医科大学院修了
昭和61年8月 Zurich大学神経学教室研究員
昭和63年2月 獨協医科大学神経内科講師
平成8年4月 獨協医科大学内科学(神経)主任教授
平成16年4月 認知症疾患センター長併任(22年3月まで)
平成22年4月 獨協医科大学病院
臨床研修センター長併任(26年3月まで)
平成23年4月 獨協医科大学付属看護専門学校校長併任
平成26年4月 獨協医科大学病院副病院長

資格

日本神経学会専門医・指導医, 日本脳卒中学会専門医, 日本頭痛学会専門医, 日本老年精神医学会専門医・指導医, 日本内科学会認定医・指導医, 日本睡眠学会認定医, 日本臨床神経生理学学会認定医, 日本医師会産業医

学会活動

[理事]

日本神経学会, 日本睡眠学会(事務局長), 日本頭痛学会, 日本神経治療学会, 日本臨床神経生理学学会, 日本自律神経学会, 日本てんかん学会, 日本薬物脳波学会(副理事長), 認知心理科学学会, 日本栓子検出と治療学会, 日本脳地図脳磁図研究会

[評議員・世話人など]

日本内科学会(関東地方会常任幹事), 日本脳卒中学会, 日本神経感染症学会, 日本臨床生理学学会, 神経救急学会, JHBM, 日本脳神経CI学会, てんかん学会関東地方会, 不眠研究会, 睡眠時無呼吸研究会, 関東睡眠懇話会, 関東甲信越頸部動脈硬化研究会, 栃木パーキンソン病研究会(代表世話人), 脳梗塞フォーラム栃木(代表世話人), International Pharmacology EEG Group, ICME

編集委員など

Neuropsychobiology, Cardiovascular Psychiatry and Neuroscience, Neurological Research and Therapy, Neuroscience and Biomedical Engineering, 臨床神経生理学, 日本頭痛学会誌, 自律神経, 睡眠と臨床, Brain and Nerve(編集協力), Epilepsy(編集協力)など。

社会活動

日本脳卒中協会栃木県支部長, 日本ブレインヘルス協会(副理事長), 栃木県神経難病連絡協議会長, 日本医師会疑義解釈委員会委員, 日本臨床医療福祉学会(理事), 栃木県認知症対策協議会委員, 栃木県脳卒中对策協議会委員

研究テーマ

1. 睡眠障害の成因・病態・治療に関する研究
2. 頭痛の病態と治療に関する研究
3. 神経生理学的手法によるParkinson病, 認知症, 血管性うつ病の研究